

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2012年
7月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

えがお

司祭 パウロ 瀬山 公一



アブラハムとサラの笑い

アブラハムは、99歳の時に神から、「男の子を与えよう」と言われ、笑って「そのようなことがあるだろうか」と言います。また、90歳の妻サラも知らせを聞いた時に、ひそかに笑ったとあります。

人は様々な場面で笑いますが、それはいつも、面白い時、うれしい時や楽しい時とは限りません。軽蔑し見下す時、恥ずかしい時、威嚇する時など、複雑な感情表現の一つとして笑います。

笑顔は、自然にこぼれ出るだけでなく、嘘をついて意図的に作り出す事もできます。

顔の表情や態度で感情を表現します。動物でも犬などは、全身で感情を表現しています。が、おそらく笑うことはないでしょう。歯を見せるのは威嚇であり、戦闘態勢に入っています。間違っても笑ってはいけません。

人間の赤ちゃんは、親や人々の言葉や表情を真似しながら覚えていきます。笑顔で覗き込む親の顔を真似した時に、今度は、自分の様子を見て親が喜んでいことに気がつき、うれしくなります。生まれた時には、まだ知らなかった笑顔、親の愛情に触れることで習得するのです。

カナンの見つめる女

カナンの女は、自分の娘を助けを求めて叫びます。

イエスは、最初異邦人の女の願いを聞いてくださいません。しかし、それでも彼女は、イエスこそ救い主であると信じて必死に願ひ続けます。その信仰によって、彼女の娘は癒されます。彼女は、神のみ子としての、イエスを見つけていました。人の目を見て話さないといふ、よく言いますが、彼女は目をそらさなかつたのです。

み子の笑み

私たちは普段、相手の目をじっと見つめて話すことは、あまりありません。ならぬこの時くらいです。どれだけ相手を見つめ合っていられるか、耐えられなくなつて、目を背けたり、笑ってしまったりした者の負けです。笑うのは照れ隠しであり、相手の目から逃れる手段なのです。

時には現実から目をそらすこともあります。笑ってごまかすことや、赦すことも大切ですが、そうゆう時にはただ闇雲に進むだけでなく、たまには気を抜いて、余裕を持つて笑顔になることも必要です。

野宿していた羊飼いたちは、天使の知らせを聞いて、ベツレヘムで救い主の誕生を目撃しました。辛くて苦しい日々の中でも、希望を抱くことができました。

静かな夜に心なごむ、み子の笑みと、み使いたちの「い

と高きところには栄光」という声が彼らの心に響いたことでしょう。神はわたしたちと共におられるというのを、この幼子は教えてくれたのです。そして、キリストの十字架によって、わたしたちの罪は赦されたのです。わたしたちが、どんなに弱く罪深くても多くの過ちを犯してしまつたとしても、いつも共にいてくださると信じるならば、心から悔い改めて、神に仕えるものとされるのです。

愚かな私たちですが、神は、それでも好きだよと言ってくださるのです。神は、わたしたちの苦しむ顔を見たいのではなく、最後には、笑顔になるように導いてくださいます。後ろめたい苦笑いではなく、穏やかな笑顔が、自然にあふれ出してくるような、そんな日々をすべての人々が送ることができるよう祈ります。

「今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は幸いである、あなたがたは笑うようになる。」

(ルカによる福音書 6章21節)

(徳島インマヌエル教会牧師・
鳴門聖パウロ教会管理牧師・
徳島聖テモテ教会管理牧師)

今年の教役者修養会と各教会の宣教協議会

教区宣教委員会 委員長 司祭 小林 尚明



講師の相澤牧人司祭(管区総主事)

今年の修養会は徳島伝道区のお世話で、6月5日(火)から7日(木)まで鳴門のホテル「鳴門海月」で行われました。テーマは、今まさに教区でも課題となっている「宣教」。講師に日本聖公会総主事の相澤牧人司祭(横浜教区)をお招きしてお話を伺いました。

講話から

相澤先生のお話は、二部からなり、第一部では、「宣教」についての多方面からの解説、日本聖公会の宣教150周年主教会教書2009年から「教会は神の民としてキリストの福音と愛を伝える器として召され、み言葉と聖餐によって養われ、この世界に派遣され、特に社会の中で小さくされている人々の中

に神様の臨在と働きを見出し、奉仕する使命を持っています」と説明されました。また、一昨行われた日本聖公会のプレ宣教協議会、今年行われる宣教協議会の目的などのお話も分かりやすいものでした。

第二部は、先生が経験してこられた開拓伝道・教会の建設のお話でした。

千葉県にある松戸聖パウロ教会の集会から伝道所になり教会建設のお話、柏集会から伝道所柏聖アンデレ教会に成長していったお話、何もない所から横浜第三の教会を作った横濱聖クリストファー教会のこと。

お話を伺っていて一番教えられたことは、それぞれの教会を作っていく時に、それぞれの教会建築のための目標が定められたことです。

松戸の場合は「常磐線沿線に伸びる首都圏住宅地に散らされた信徒の交わりと、未信徒への信徒としての働きかけ」。柏の場合は「教籍がどこにあ

ろうとも、その地区に住んでいる信徒の交わりと、その信徒を通して未信徒への働きかけ」。クリストファーの場合は「横浜市南西部に散らされた信徒の交わりと、地域への働きかけを通して、横浜にもうひとつの教会を」というものでした。これらの目標を信徒と牧師がよく話し合って決め、この目標に向かって教会のみんなが心を一つにして進んでいったということでした。

現在神戸教区では、各教会で宣教協議会が開かれ、2016年(神戸教区宣教140年)に向けて、ビジョン(将来どうい

各教会の宣教協議会

教区宣教委員会は、各教会で行われている宣教協議会の進捗状況を、今年一月と五月にアンケートの形で答えていただいています。

修養会の二日目は、各教会がどこまで進んでいるかの発表をしていただきました。一生懸命努力して進んでいる教会、なかなか進まない教会と色々ありますが、その中から二つの教会を紹介いたします。

一つの教会は、昨年七月から既に八回の宣教協議会が開催され、いろいろな意見が出てきました。その中でも祈り、黙想会の必要性が出てきた、と報告されていました。黙想の中心は、イエス様への集中ですから、その教会に聖霊なる神様の働きかけ(ヨハネ伝14:26、15:26、16:14)があるんだなあ、と報告を聞いている私の方がうれしくなりました。

もう一つの教会は、昨年七月

に行われた教区の宣教協議会で用いられた「ワークシート」を使うことによって、教会の置かれている地域とのかかわりの大切さに気付かされ、教会、幼稚園、地域の方々とフリーマーケットを行い、地域と交流、地域のニーズ(必要)をリサーチしていく、と報告されました。「ワークシート」に関しては、使いづらいつの批判もありますが、使うことよっての新たな、大切な気づきも与えられています。

今年の教区会に向けて

各教会で行われている宣教協議会でビジョン、アクションプランを決め、そのプランがどこまで達成できたか、数値で評価する基準を設けてください。それを来年早々行われる各教会の受聖餐者総会で決議し、実行してください。このことを教区主教から求められています。

また、各教会の進捗状況の分かち合いを今年の教区会で行うことを教区主教と相談しています。

最後に、教区主教が各教会の発表を聞かれた後に話された言葉を書いておきます。「各教会は、その教会の歴史、伝統、習慣を検証、評価し、教会が何のためにそこにあるのかを考えてほしい」。



東日本大震災関連情報

いっしょに歩こう！
プロジェクト
仙台オフィス訪問記
司祭 ミカエル 小南 晃

6月11日(月)から4日間、「いっしょに歩こう！プロジェクト」仙台オフィスを尋ねる機会がありました。

同オフィスでは、現在、10名余りのスタッフが活動されていますが、その出身教区は、まさにオール日本聖公会の観があります。

また仙台オフィスの支援活動は同時進行で多岐に渡っており、そのため壁のホワイトボード日程表は、まるで列車ダイヤの様でした。

午前9時からの朝の祈りの後、短いミーティングが行われ、スタッフ各自の担当現場に出発して行く様子は活気に溢れていました。



朝のミーティングの様子



6月9日(土)に開所した、新地ベース

新地ベース新設

6月9日(土)に、福島県相馬郡新地町に新たなベースが設けられ、スタッフが常駐して活動することになりました。

仙台市から、車で約1時間30分の場所ですが、被災された信徒の方など入居されている広畑仮設住宅などで、昨年より様々な支援活動が行われています。

この地に常駐スタッフを置くことで、より一層の支援を展開して行くとしています。私たちも、こうした多くの活動を憶え続けて、私たちに出来る形で支援して参りましょう。

大聖堂にパイプオルガンを1

礼拝音楽担当・オルガン選定委員長

ルツ 原田 里香子

今から53年前に建てられた神戸教区大聖堂は、2010年秋、耐震工事を終えて一新され、その寿命を延ばしました。

建物の構造強化と共に、音響改善のために床をフローリング化、防音効果を高めるために二重窓装備に、またパイプオルガン設置を想定して聖堂入り口付近北側の床の補強工事も行いました。

昨年11月、教区会で中村主教がオルガン設置について提言されましたが、今年に入り、その実現に向け主教諮問機関・オルガン選定委員会が設置されました。委員会は5社のオルガン会社に見積もりを依頼、比較検討して選定作業を行いました。

また4月1日に、ミカエル教会地下ホールで神戸近郊の教会信徒を対象にパイプオルガン説明会を行いました。先日の常置委員会では、英国のマンダー社のオルガンが適当と承認され、そのパイプ仕様もほぼ確定しました。

ところで私たちは、神戸聖ミカエル教会を「大聖堂」とも呼んでおりますが、それはどのような意味を持つのでしょうか？

大聖堂には、その名にふさわしい果たすべき機能と役割が求められます。しかし礼拝音楽に関しては、これまで課題が後回しにされてきました。

礼拝音楽に関わる奉仕者たちは、明確に組織化されておらず、個人の努力と奉仕に任せきりでした。礼拝音楽は、オルガニスト、聖歌隊の音楽経験に大きく左右されます。しかし個人の献身に頼るだけでは限界があります。将来に渡って円滑な世代交代を図りながら、オルガニストと聖歌隊の絶対数を確保し、大

聖堂の礼拝が教区のスタンダードとして洗練された礼拝音楽をめざすには、オルガニストの発掘と育成、聖歌隊の充実を図る体制作りが必要です。今後プロのオルガニストを招聘して月1回程度の主日礼拝演奏を依頼、オルガニストの演奏技術と音楽的向上を図るレッスン、聖歌隊の指導、将来のオルガニスト発掘のための学生レッスン、定期オルガンコンサート等を検討しています。そのためにパイプオルガンの設置は欠かせません。大聖堂が聖別されて約50年を経て、ふさわしい礼拝音楽のために、教区全体としても是非理解を深めていただきたいと願います。

(明石聖マリア・マグダレン教会信徒)



マンダー社パイプオルガンの完成予想図

8月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2012年8月2日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 吉田 雅人

* 8月の記念逝去教役者 *

3日	伝道師	益田喜代吉
3日	司祭	シドニー スワン
7日	宣教師	エミー K. ウーレイ
9日	宣教師	E. E. トンプソン
14日	司祭	ピーター ジャクソン
17日	司祭	パウロ 古本 正夫
17日	伝道師	野田 璞水
18日	司祭	関 若之助
20日	司祭	ヨハネ 末吉 時信
25日	宣教師	エリザ リッツソン
27日	司祭	ダミアン 村瀬 敬輔

○7月8日(特定9) 聖霊降臨後第6主日
「海の主日」

○8月5日(特定13) 聖霊降臨後第10主日
「日本聖公会青年活動のため」

*上記主日をお祈りに覚えて下さり、当日信施金を
管区にお届けください。

鳩だより
《敬称略》

祝 洗 礼

5月20日(日)
ヨセフ 田中 繁 男
神戸聖ヨハネ教会

祝 堅 信

5月6日(日)
ヨハネ 松浦 孝 司
クララ 富島 奈 緒
セシリア 相根 梨咲子
神戸聖ヨハネ教会

5月20日(日)
フランシスコ

クララ 河村 悠 希
アウグステイヌス 河村 明日香
エステル 岡田 北 圭 吾
神戸昇天教会

教 籍 移 動

5月21日(月)
ソフィー 水野 真由子
神戸聖ミカエル教会より
松山聖アンデレ教会へ

ご 逝 去

5月7日(月)
モニカ 岡田小夜子(82歳)
徳山聖マリア教会

5月11日(金)

ヨ ブ 小黒 正規(97歳)
神戸聖ヨハネ教会

5月13日(日)

マッテヤ 横山 幸貴(61歳)
高松聖ヤコブ教会

5月20日(日)

ヨセフ 田中 繁男(85歳)
神戸聖ヨハネ教会
パウロ 小槻 実(87歳)
神戸聖ヨハネ教会

広 島 伝 道 区

◎徳山聖マリア教会

5月12日(土)、ゴスペルシン
ンガー(Miss J)をお招きし、
チャペルコンサートが行われま
した。休憩中に集められた募金
は、ネパールにあるクルーニ女
子修道会ゴダワリ修道院の活動
にお届けしました。ゴダワリ修
道院では貧困層の緊急避難的な
食料支援を行っています。

2011年度 信徒神学塾
夏期スクーリング開講の
お知らせ

日時: 2012年7月21日(土)
10時30分~15時(休憩含む)
会場: 神戸聖ミカエル大聖堂
地階ホール

【スクーリングI】

10時30分~12時
「アジール(避難所)としての神殿」
講師 勝村弘也 教授
(神戸松蔭女子学院教授)

【スクーリングII】

13時~14時30分
「鹿の鳴き声(詩編42)」
講師 司祭 信岡章人
(神戸教区退職司祭)

講師 信岡章人
(神戸教区退職司祭)

ティータム(質疑応答)
14時30分~15時

参加費: 無料(昼食をご希望の方
には、1000円をご用意
します。受講申込の際に
要・不要を必ずお示し下さい)

申込・問合せ先: 神戸教区事務所
FAX TEL 078-3351154
078-3382109

申込締切: 2012年7月16日(月)

第49回神戸教区中高生大会

テーマ: 「えがお」
日時: 8月14日(火)~17日(金)
会場: 広島市似島臨海少年自然の家
〒734-0017 広島市南区似島町字東大谷182
大会長: 小林和真(広島復活教会)
会費: 1万円(傷害保険料含む)
申込先: 司祭 長田吉史(広島復活教会)
所定用紙に記入し各教会から一括申込み
申込締切: 7月1日(日)

日本聖公会全国青年大会2012

テーマ: re:member ~ひかりを灯そう~
日時: 8月23日(木)~26日(日)
会場: 宮城県内各所
宿泊: 秋保グランドホテル
参加費: 4万円 参加対象: 18歳以上の青年
※神戸教区では参加目標5名として補助を行います。
当教区での申込・問合せ先等は下記の通りです。
申込・問合せ先: 司祭 林 和広 (TEL 086-423-0868)
申込締切: 7月10日(火)

広島平和礼拝2012のご案内

『ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ』
~平和を実現する人は、幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる(マタイ5:6)~
日時: 8月5日(日)~6日(月)
会場: 広島復活教会
今年は被爆証言と平和の主張を4名の方にお話し頂きます。

目的: 1. 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
2. 次代を担う人たちに原爆の悲惨さ、戦争の愚かさ
を伝える。
3. 「主の平和」を学び、その実現のために活動する。
行事: 被爆証言と平和の主張、祈りの集い、平和行進、
平和祈願ミサ
参加費: 無料(日程中の食事、簡易宿泊)
自己負担: 交通費、ホテル宿泊、5日夕食など

お問い合わせ・お申込みは、広島平和礼拝実行委員会事務局まで。申込締切: 7月10日(火)
(日本聖公会神戸教区 広島復活教会 〒730-0014 広島市中区上職町10-11) TEL: 082-227-1553 FAX: 082-227-0818
E-Mail: kobayashi@hpps.web9.jp 「広島平和礼拝ホームページ」 <http://hpps.web9.jp/>